

地域保健

7
2022

●座談会

災害時の保健活動を再考する

—保健師が力を発揮するために統括保健師がすべきこと

●特集

避難所の現状と課題

—保健師が知っておきたいこと



保健師の活動基盤に関する 基礎調査



1 背景・目的

日本看護協会では、保健師活動の実態を明らかにすることを目的として、厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業「保健師の活動基盤に関する基礎調査」を平成21年度（2009年度）より開始し、22年度（2010年度）以降、4年に1回実施しており、今回が5回目の調査となります。

令和4年度の本調査では、新型コロナウイルス感染拡大等により活動内容に大きく影響を受けた保健師の「人材確保・育成、就業継続」に焦点を当てた実態把握と課題の整理、対応策の検討を行い、今後の保健師確保・定着の促進に向けた政策提言等の活動に反映することを目指しております。

2 調査方法

1) 調査対象

保健師として就業している全国の保健師

※看護協会会員・非会員は問いません

2) 調査実施期間（予定）

令和4年9月1日（木）～令和4年9月15日（木）

3) 調査方法

Web調査（PCまたはスマートフォンにて回答）

日本看護協会ホームページ（<https://www.nurse.or.jp/jp/>）よりアクセスし、ご回答ください。 ※上記ホームページ上に調査専用バナーを設置予定

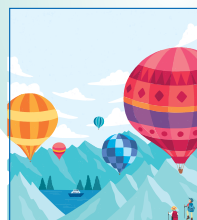
3 調査に関する問い合わせ先

公益社団法人日本看護協会 健康政策部保健師課

【受付時間】 平日9時～17時30分

【電話番号】 03-5778-8844

【専用メールアドレス】 kiso-chosa@nurse.or.jp



【座談会】

6

災害時の保健活動を再考する —保健師が力を発揮するために統括保健師がすべきこと

(出席者)

奥田博子さん (国立保健医療科学院) =司会

島村通子さん (静岡県健康福祉部)

松野今日子さん (八王子市総務部)

茅野かずみさん (広島県竹原市市民福祉部)

【特集】

22

避難所の現状と課題 —保健師が知っておきたいこと

- 24 わが国の避難所の課題 石井美恵子 (国際医療福祉大学大学院)
- 28 災害時に母子を支えるために—心理的安全性を築く拠点作りの重要性 吉田穂波 (神奈川県立保健福祉大学大学院)
- 35 避難所の歯科保健の重要性 中久木康一 (東京医科歯科大学)
- 40 JRAT について—避難所における生活不活発病予防とリハビリテーション支援 栗原正紀 (一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会)
- 45 命を守る避難所のトイレ対策 加藤 篤 (特定非営利活動法人日本トイレ研究所)
- 50 避難所での性的マイノリティの人々を取り巻く課題 山下 梓 (弘前大学)

- 2 ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 奥田典子さん (葛城市 健康増進課)
- 54 Close Up ▶ 災害時における都道府県と市町村の連携強化 宮崎美砂子 (千葉大学大学院)
- 78 ピープル ▶ 荻野志保さん (NPO 法人みかんぐみ 副代表理事)

90 情報BOX

96 次号予告/奥付

連 載

- 58 なな先生のことばの発達教室《第2回》/寺田奈々
- 62 東京保健師ものがたり《第8回》/和泉慶子
- 74 オンライン市役所だより《第8回》
/保健師とつながろう課

- 76 ESSAY 国際保健《第50回》/松田正己
- 82 保健師のための閑話ケア《第101回》/藤本裕明
- 86 中臣さんの環境衛生ウォッチング《第86回》/中臣昌広



奥田典子さん

● 葛城市 健康増進課

おくだ・のりこ

しんどい思いをしている人を
心身ともに支え、一緒に考えたい



職場近くの屋敷山公園は、図書館や体育館など市の施設も隣接。年代問わず人気のスポット

災害時の

保健活動

を再考する

保健師が力を
発揮するために
統括保健師が
すべきこと

災害時の支援には多くの職種が関わるようになった。中でも保健師は健康面から支援に関わる重要な職種であり、災害時の保健活動マニュアルを整備する自治体も増えている。一方、被災地にはさまざまな専門支援チームが入るようになり、以前に比べ保健師の存在が相対的に埋没している感がある。保健師が専門職としてのアイデンティティーを見失い、対応に振り回される状況が続けば、バーニアウトのリスクが高まる。また保健師が有効に機能しないことは被災者・住民の不利益につながる。

座談会では、災害時に保健師が本来なすべきことを整理しつつ、それらを妨げる要因を探り、保健師が効果的・効率的に力を発揮するための方策を統括保健師の立場から考える。



◆八王子市総務部
裕野**今日子**さん



◆国立保健医療科学院
奥田**博子**さん 司会



◆広島県竹原市市民福祉部
茅野**かずみ**さん



◆静岡県健康福祉部
島村**通子**さん



避難所の環境の悪さは災害関連死にもつながるため改善が求められており、段ボールベッドやマンホールトイレの設置など、さまざまな工夫がなされるようになってきた。しかし、トイレ対策ひとつをみても、司令塔の不在や防災トイレ計画の未策定など、わが国の避難所対策は課題が残る。国際的には常識である被災地における人権感覚が希薄であることが、これらの背景にはありそうだ。

特集では、避難所の現状と課題という側面から、保健師が知っておきたいトピックを掲載する。

- P24** わが国の避難所の課題
◎石井美恵子（国際医療福祉大学大学院）
- P28** 災害時に母子を支えるために
—心理的安全性を築く拠点作りの重要性
◎吉田穂波（神奈川県立保健福祉大学大学院）
- P35** 避難所の歯科保健の重要性
◎中久木康一（東京医科歯科大学）
- P40** JRAT について
—避難所における生活不活発病予防とリハビリテーション支援
◎栗原正紀（一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会）
- P45** 命を守る避難所のトイレ対策
◎加藤 篤（特定非営利活動法人日本トイレ研究所）
- P50** 避難所での性的マイノリティの人々を取り巻く課題
◎山下 梓（弘前大学）

特
集

避難所の 現状と課題

保健師が
知っておきたい
こと



荻野志保

さん

●NPO法人みかんぐみ 副代表理事

ひとりで解決できることは限られている
まずは人とつながり仲間をつくろう

医療的ケアが必要な子どもが地域で暮らしていくためには、多くのサポートや周囲の理解が欠かせないが、社会的な支援体制が十分に整っていないのが現状だ。荻野さんは障害を抱える子の親同士がつながることで、これまで仲間とともにさまざまなイベントを開催し、行政との協働事業も実現してきた。そのエネルギーギッシユな活動ぶりをレポートする。

●取材・文……………白井美樹（ライター）

同じ療育グループのメンバー
と活動団体を立ち上げる

平成23年生まれの荻野さんの長女は、生後9か月のときに重い障害を抱え、平成25年から杉並区こども発達センター内の療育園に通い始めた。そのときの1〜2歳児クラス「みかんグループ」との出会いが荻野さんの活動の原点となっている。

「8組ほどの親子グループでしたが、ほとんどの子どもが重症心身障害児でした。ラ

ンチの時間になるとお母さん同士が集まって、困っていることを話したり、情報交換をしたりしていました。そうして仲間と話すうちに、『ひとりでは解決できないけれど、みんなをやったらできることがあるかもしれない』と考えるようになり、活動団体を立ち上げることになったのです」

平成26年に、グループの名前そのままに、任意団体の「すぎなみ重度心身障害児親子の会みかんぐみ」を発足。「こんなことをしたい」「こういうものがあつたらいい」

と考えを出し合った。そして、将来的に通所施設を作れたら、という目標を決め活動していくことになった。

子どもが自分で意思を伝えられるようたくさんの経験を積める場を作る

「ところが、団体設立から間もなく私たちは大きく方向転換することになります。きっかけは、あるシンポジウムに参加したこと。重症心身障害者であっても、いろいろ

特集

誰も取り残さない災害保健活動
マイノリティへの健康面での支援をどうするか

●座談会 災害時要配慮者支援として保健師に求められること

<出席者> 奥田博子さん（国立保健医療科学院）＝司会
森永裕美子さん（岡山県立大学）
井上郁子さん（茅ヶ崎市保健所）
原田 恵さん（倉敷市保健所）

●日頃から地域の福祉職等との人脈づくりを 北村弥生（長野保健医療大学）

●潜在的な要支援者への支援の実態調査から
日詰正文（国立重度知的障害者総合施設のぞみの園）

●肢体不自由者と災害時の支援 北村弥生

●視覚障害のある人と災害時の支援 北村弥生

●聴覚障害のある人と災害時の支援 宮澤典子（一般社団法人全国手話通訳問題研究会）

●知的障害のある人と災害時の支援 北村弥生

●精神障害のある人と災害時の支援
山田悠平（一般社団法人精神障害当事者会ボルケ）

●発達障害のある人と災害時の支援 前川あさ美（東京女子大学）

ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ！ 三浦七海さん（南三陸町保健福祉課健康増進係）

ピープル なるかわしんごさん（絵本作家）

Close Up ベビー防災 押栗泰代（ナーシングクリエイティブ株式会社、マイママセラピー）

※変更になる場合がございますので、ご了承ください。

地域保健
令和4年7月号

令和4年7月1日発行／隔月（奇数月）1回1日発行
発行人 菅 国典
制作・発行 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-22
株式会社 東京法規出版
振替 00160-1-371595

【購読の申し込み】

TEL 03-5977-0300
FAX 03-5977-0385
ウェブ www.chiikihoken.net

【内容の問い合わせ】

TEL 03-5977-0353 E-mail chiikihoken@tkhs.co.jp

◎表紙・本文デザイン＝新海妙子
◎印刷・製本＝（株）上野印刷所
◎編集長＝須賀健次
◎編集員＝松岡康子

本誌に掲載された著作物の
複写・転載等の許諾権は、
株式会社東京法規出版が保
有しています。

バックナンバー紹介

2021 年 5 月号

特集 「保健師人材育成のいま、そしてこれから」

第1部ではコロナ前から進んでいる保健師の現任教育を整理、第2部では平時と健康危機時を見据えた人材育成について深掘りする。また、新人でいきなりコロナ禍を経験した保健師たちの座談会も掲載。

2021 年 7 月号

特集 「生きづらさを抱える女性たちの支援を
どうするか」

—ウィズコロナ・ポストコロナの地域の課題—

コロナで生じた地域への悪影響のうち、生きづらさを抱えている女性の問題にスポットを当て、保健師としてこの課題にどう向き合うべきかを考える。

2021 年 9 月号

特集 「貧困家庭の子どもへ必要な健康支援」

貧困家庭では健全な生活習慣を育むことが難しく、子どもの有病率は高いといわれるが、子どもへの支援は必須ではなく、自治体に任されている。この問題に保健師はどう向き合うか。

2021 年 11 月号

特集 「子どもの性と向き合う」

—包括的性教育とプレコンセプションケアを踏まえて—

包括的性教育やプレコンセプションケアの視点から、保健師が子どもの性とどのように向き合ったらよいのかを考える。

座談会 「保健活動におけるデータとエビデンス
—EBPM、ICT、AIの時代に—」

EBPM、ICT、AIの巨大な潮流の中で保健活動はどのように変わっていくのか。保健師業務におけるデータやエビデンスの扱いについて語り合う。

2022 年 1 月号

新春座談会 「コロナ禍における統括保健師の役割
—不安と混迷の時代に—」

非常時と日常が混在する中で、自治体保健師の取りまとめ役である統括保健師が果たすべき役割は何か。混迷の時代における統括保健師の役割について考える。

特集 「『高齢者の保健事業と介護予防の一体的
実施』の推進

—コロナ禍でいかに進めるか—

コロナ禍で対面交流事業が難しくなった。一方、自粛生活は高齢者の心身の機能を低下させる。コロナ禍における高齢者の健康づくりを保健事業と介護予防の一体的推進の立場から整理、自治体の好事例を紹介する。

2022 年 3 月号

座談会 「精神障害にも対応した地域包括ケア
システムと市町村保健師の役割」

通称「にも包括」と呼ばれる同システムの構築において、市町村保健師に期待されるものは何か。先進的な市町村の保健師と専門家が意見交換。

鼎談 「母子保健とコロナ禍」

コロナ禍における母子保健に焦点を当て、事業を進めるための工夫や乗り越えるべき課題、母や子の異変などについて語り合う。

2022 年 5 月号

特集 「医療的ケア児と家族への支援」

医療的ケア児とその親が地域生活を始めるとき、行政サービスにうまくつながるかどうかは、保健師の初期の丁寧な関わりが大きい。医療的ケア児とその家族の支援に関する保健師の役割について座談会や事例をもとに考える。

お申し込みは

(株) 東京法規出版 地域保健編集部
FAX : 03-5977-0385

※バックナンバーの価格

(2009 年 3 月号まで)	837 円 (税込) + 送料 154 円
(2009 年 4 月号～2016 年 3 月号まで)	942 円 (税込) + 送料 154 円
(2016 年 5 月号から)	1,507 円 (税込) + 送料 154 円

『地域保健』購読のご案内

- 年6回、隔月〔奇数月〕1日発行
- B5判、総100頁（本文96頁、表紙4頁）
- 価 格 1冊あたり 定価1,507円（本体1,370+税10%）、送料154円
- 年間購読 《公費前納および個人》8,137円（税込、送料弊社負担）
- 年間購読 《公費後納》9,042円（税込、送料弊社負担）
- ※書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>

東京都保健師募集

都市部から島しょ地域まで、
幅広い現場があります！

東京都の保健師は、精神・難病・感染症・医療安全対策といった専門的業務等を、保健所を中心に、都市部（多摩地域）から島しょ地域までの様々な現場で展開しています。あなたも一緒に挑戦しませんか？



- ◎採用予定者数 16人
- ◎資格 免許取得者または
取得見込者
- ◎年齢 令和5年4月1日現在、
22歳以上40歳未満の方
- ◎勤務場所 多摩及び島しょ地域の
保健所等
- ◎採用予定日 令和5年4月1日(原則)
- ◎試験日 令和4年9月11日(日)(1次試験)
- ◎申込期間 郵送申込：令和4年8月24日(水)消印有効
WEB申込：令和4年8月26日(金)まで



東京都福祉保健局採用職種ナビのご案内

東京都の保健師活動について理解を深めていただくために、仕事内容や実際に働く先輩職員の声を、東京都福祉保健局採用職種ナビでお届けしています。ぜひ、以下URLよりご覧ください！

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/saiyou/>



問い合わせ先

東京都福祉保健局総務部職員課 TEL：03-5320-4023

申込方法等詳細については、東京都福祉保健局ホームページをご覧ください。

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/joho/soshiki/soumu/syokuin/syokuin_joukin/s_shoku/hokenshi.html

